

こんな事故が多く起きています。

事故予防チェック!

実は多い
家の中にある
危険な場所



1位 転倒
段差、玄関、廊下など



4位 ぶつかる
家具、人、柱、ドアなど



2位 転落
階段、ベッド、脚立、椅子など



3位 窒息
食物(餅・肉等)、薬等の包装など



←他にも危険な事例がたくさんあります。確認してみましょう。

救急お役立ち
ポータルサイト

FDMA 消防庁
住民とともに Fire and Disaster Management Agency

救急ポータルサイト

検索

※発生事例の多い順に番号をつけています。
参考資料「東京消防庁救急搬送データからみる日常生活事故の実態」

事故の原因を知って対策をしましょう!

1位 転倒

段差、玄関、廊下など



- 段差につまずかないよう気をつけましょう
- 転倒を防ぐために整理整頓を心がけましょう
- 階段、廊下、玄関、浴室など滑り止め対策をしましょう

2位 転落

階段、ベッド、脚立、椅子など



- 階段などには手すりを配置しましょう
- ベッドにも転落防止の柵をつけましょう
- 脚立などを使用して作業をする時は補助者に支えてもらいましょう

3位 窒息

食物(餅・肉等)、薬等の包装など



- 細かく調理。ゆっくりよく噛むことで窒息予防
- お茶などの水分を取りながら食事をしましょう
- 急に話しかけて、あわてさせないように気をつけましょう

4位 ぶつかる

家具、人、柱、ドアなど



- 慌てず、周りをよく見て行動しましょう
- 通路などに物を置かないようにしましょう
- 暗いところは十分な明るさを確保しましょう



事故を防ぐために

- 事故防止にはご家族などの協力も大変重要です
- 熱中症対策には、早めの水分補給を心掛けましょう



こんな事故が多く起きています。

いますぐ
確認!

おうちではケケンがいっぱい



←他にも危険な事例がたくさんあります。確認してみましょう。

← 救急お役立ちポータルサイト

FDMA 消防庁
住良とどろろ Fire and Disaster Management Agency

救急ポータルサイト

検索

※発生事例の多い順に番号をつけています。
参考資料「東京消防庁救急搬送データからみる日常生活事故の実態」

1位 ころぶ



風呂場、段差、洗面所など

少しの段差や濡れた床などで転ぶ可能性があります。目を離さないようにしましょう。

2位 おちる



階段、窓、ベランダなど

転落防止の柵をつけたり、踏み台になるものを置かないようにしましょう。

3位 たべる



たばこ、薬、電池など

飲み込めそうなものは、手の届くところに置かないように注意しましょう。

4位 ひっかける



ブラインドの紐、水筒のストラップなど

手の届かないところに置き、ひも付きのものは外して遊ばせるようにしましょう。

5位 ぶつかる



机の角、テーブルの角など

角の部分はやわらかいもので保護しておくなど、ぶつけてもいいように工夫しましょう。

事故の原因を知って 対策をしましょう!

6位 やけど



アイロン、熱い飲みものなど

やけどのおそれのあるものは子供の手の届かないところへ置くようにしましょう。

7位 はさむ



窓、ドア、引きだしなど

危険と思われるところには、鍵などをして開けられないようにしましょう。

8位 きる



包丁、カミソリなど

使用後はすぐに片づけて、簡単に開けられない場所に収納するようにしましょう。

9位 ささる



ペン、歯ブラシ、ヘアピンなど

ささりやすいものは使用後に片づけるなど、整理整頓を心がけるようにしましょう。

10位 おぼれる



風呂場の水、ビニールプールなど

水深が浅くても溺れます。少しの時間でも目を離さないように注意しましょう。